

2005年11月28日

業界・企業選びの視野を広げる。
「学生()のためのキャリアの学校」～冬の実践講座～
東京(11/29.30)、大阪(12/5)、名古屋(12/8)で開催

株式会社リクルート(本社:東京都中央区 代表取締役社長 兼 CEO: 柏木 齊)は11月29.30日(東京)と12月5日(大阪)、12月8日(名古屋)、学生を対象に社会・仕事を理解するためのイベント[「学生のためのキャリアの学校」～冬の実践講座～]を開催します。本イベントではイメージ先行型の就職活動から、より具体的な企業の実態、仕事の内容を理解することで、自分にあった企業や仕事選びの「新しい視点」を提供するものです。

対象:大学生・大学院生、及び短大生・専門学校生・高等専門学校生の全学年が対象です。

イベント概要

趣旨に賛同して頂いた企業(*1)の社員の方を講師に招き、学生に「業界」「ビジネス」「仕事」や具体的な「企業」について「あるがままの姿」を語っていただく場です。

期間 / 会場

[東京]2005年11月29(火)～30日(水) [東京ビッグサイト/東京都江東区有明 3-21-1]

[大阪]2005年12月5日(月) [大阪国際会議場(グランキューブ大阪)/大阪市北区中之島 5-3-51]

[名古屋]2005年12月8日(木) [愛知厚生年金会館(ウェルシティなごや)/愛知県名古屋市千種区池下町 2-63]

プログラム内容

「人気企業のイメージギャップと求める人物像」:企業人事によるパネルディスカッション / 東京・大阪

「企業講演」 / 東京・大阪・名古屋

「OBOGカフェ」:OBOGと学生が自由にトークできるスペース。 / 東京

「30代のエースプレイヤーのキャリアステップと仕事観」:社員によるパネルディスカッション / 東京

「理系のキャリアを考える」:OBOGに学生が訪問セッションできるスペース。 / 大阪

「自分のベストな企業の見つけ方応用編～企業事例つき～」: / 東京・大阪

「人気企業の先輩社員が語る、仕事・会社・就職活動のホンネ」: / 名古屋

協賛企業 / 50音順 (*1) 野村證券、武田薬品工業、富士写真フイルム、日立製作所、日清食品、日産自動車、凸版印刷、第一生命保険、松下電工、住友商事、住友スリーエム、三菱地所、三菱商事、三菱重工業、三井物産、京セラ、ユニ・チャーム、メルリンチ日本証券、ソニー、ゴールドマン・サックス、NTT東日本(東日本電信電話)、野村総合研究所、博報堂 / 博報堂DYメディアパートナーズ、日立製作所、東京証券取引所、東京三菱銀行・UFJ銀行、大塚商会、資生堂、ベネッセコーポレーション、ブリヂストン、フジテレビジョン、ジェイティービー(JTB)、ジェイアール東海高島屋、サイバーエージェント、エヌ・ティ・ティ・ドコモ (NTTドコモ) ほか

各会場によって参加企業は異なります。

イベント関連ホームページ・ <http://rikunabi2007.yahoo.co.jp/07/GAKKO/> *「キャリアの学校」

【本件に関するお問い合わせ先】

http://www.recruit.co.jp/corporate/support/inquiry_press.html

本件は本日 15 時に厚生労働記者会にて配布しております。

イベントの背景と目的

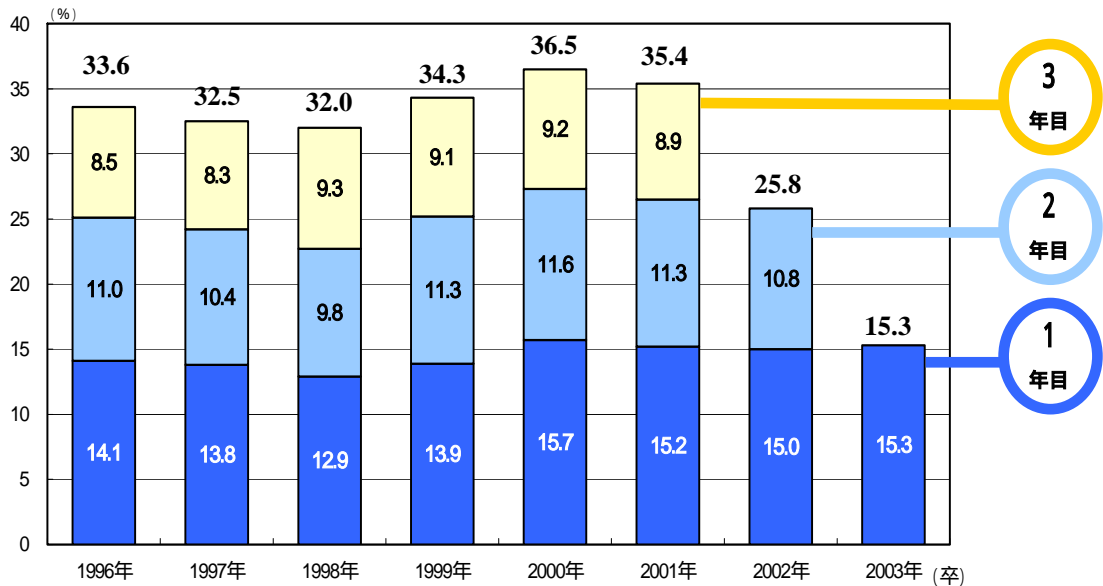
入社3年以内の離職率がこの10年で大幅に増加(1991年 24.9%・2000年 36.5%)しました。リクルートは、その主たる原因の一つに、「イメージ先行型就職」があるのではないかと考えています。

このイベントを通して、リクルートは学生に「やりたいことができるのは、あの業界だけ」や「大手企業しか興味がない」という、イメージや思い込みのみで業界選び・企業選びをするのではなく、自分なりの視点を持ち、視野を広げていくことを提案します。

【参考1】若年層の離職率

入社時点で3年以内に離職を考える学生はわずか 2.3%であるにも関わらず、現実には3年以内で約35%の人が離職してしまいます。その離職理由のTOPは、「思っていたのと違うから」というものです。

新規学卒就職者の在職期間別離職率の推移



出所：厚生労働省職業安定局調べ（2002年の3年目、2003年の2、3年目の該当データ無し）

【参考2】昨年実施時のイベント会場内



リクルートでは、2002年から小規模な講座形式で、学生向けにキャリアを考える講座を実施しています。昨年度2004年は、35社の協力のもと、東京・大阪にて全96講座実施でのべ約3万人の学生を動員しました。